様式第２号の１－②【⑴実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の１－①を用いること。

学校名	専門学校富士リハビリテーション大学校
設置者名	学校法人森島学園

１．「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
医療専門課程	作業療法学科	夜・通信	2,520 時間	320 時間	
	理学療法学科	夜・通信	2,430 時間	320 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
（備考）					

２．「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページ https://www.morishima.ac.jp/fuji/

３．要件を満たすことが困難である学科

学科名
（困難である理由）

様式第２号の２－①【⑵-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第２号の２－②を用いること。

学校名	専門学校富士リハビリテーション大学校
設置者名	学校法人森島学園

１．理事（役員）名簿の公表方法

ホームページ https://www.morishima.ac.jp/fuji/

２．学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	学校法人森島学園 元理事長	2025.5.26 ～4 年間	学校運営の専門的見識を受ける
非常勤	株式会社スモールポンド代表取締役	2025.5.26 ～4 年間	医療分野からの専門的見識を受ける
非常勤	株式会社善用	2025.5.26 ～4 年間	経営士からの専門的見識を受ける
（備考）			

様式第２号の２－②【⑵-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第２号の２－①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	専門学校富士リハビリテーション大学校
設置者名	学校法人森島学園

１．大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	・理学療法学科教育課程編成委員会 ・作業療法学科教育課程編成委員会
役割	学科ごと年に 2 度会議を行い、数年に一度カリキュラムの改正を行っている。

２．外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
県内病院リハビリテーション部部長	2024.4.1 ～ 2026.3.31	理学療法学科教育課程編成委員会
公益社団法人静岡県理学療法士会　理事	2024.4.1 ～ 2026.3.31	理学療法学科教育課程編成委員会
公益社団法人静岡県作業療法士会　理事	2024.4.1 ～ 2026.3.31	作業療法学科教育課程編成委員会
公益社団法人静岡県作業療法士会　会長 一般財団法人日本作業療法士協会代議員	2024.4.1 ～ 2026.3.31	作業療法学科教育課程編成委員会
（備考）		

様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校富士リハビリテーション大学校
設置者名	学校法人森島学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要）

・　授業計画書（シラバス）の作成過程
シラバスは担当教員が作成し、役職教員による監査を受けた後に公表する。授業目標、授業の概要・学習支援の方法、教科書・参考書、成績評価方法、授業の回数・スケジュール、テーマ・内容・キーワードなどで構成している。実務経験のある教員が担当する科目については、教員がどのような資格を持ち、どのような実務経験があるかを記載している。

・　授業計画の作成・公表時期
前期は前年度２月～3 月、後期分は６月～7 月に作成する。４月と８月に公表する。

授業計画書の公表方法	ホームページ（https://www.morishima.ac.jp/fuji/）

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要）

・　成績評価の方法
定期試験・実技試験・レポートなどを総合的に勘案して成績評価を実施している。講義は定期試験を中心に、実習は実技試験を中心に成績評価を行う。成績評価の方法は、各科目のシラバスで明確に示している。

・　合否判定、単位認定
合否判定は、学則で 60 点以上と規定されている。各科目、これを遵守して厳格に成績評価を行っている。

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） 学期 GPA＝ 当該学期で開講している授業科目の GP の合計 ／ 当該学期で開講している授業科目の数 学年 GPA＝当該学年で開講している授業科目の GP の合計 ／ 当該学年で開講している授業科目の数 通算 GPA＝ 在学中に開講している授業科目の GP の合計 ／ 在学中に開講している授業科目の数 ・　GPA の実施状況 学期終了時に GPA を算出し、補習や個別指導の対象者を決定するための資料としている。学年末には学年 GPA を算出し、進級判定の資料としている。	
客観的な指標の算出方法の公表方法	ホームページ（https://www.morishima.ac.jp/fuji/）
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） ・　卒業の認定に関する方針の具体的な内容 理学療法士・作業療法士の資格取得レベルの学力到達が卒業認定の目安となる。具体的にはディプロマポリシーで示している。 ・　卒業の認定に関する方針の適切な実施状況 在学中に開講している全ての科目は、理学療法士・作業療法士の資格取得のために修得すべき内容で構成されている。従って、全科目の合格を卒業の要件とし、卒業判定会議で厳正な審査により卒業を認定している。	
卒業の認定に関する方針の公表方法	ホームページ（https://www.morishima.ac.jp/fuji/）

様式第２号の４－②【⑷財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第２号の４－①を用いること。

学校名	専門学校富士リハビリテーション大学校
設置者名	学校法人森島学園

１．財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページ （https://www.morishima.ac.jp/fuji/）
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

２．教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士
医療		専門課程	作業療法学科			○
修業年限	昼	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類			
			講義	演習	実習	実験	実技
4年	昼	3,675単位時間/130単位	1，650単位時間	900単位時間	1,125単位時間	0単位時間	0単位時間
			単位時間／単位				

生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
160人	125人	0人	9人	51人	60人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要） ・ 授業方法及び内容 講義、実習で構成している。実習は学内の実習と学外での臨床実習を行う。 ・ 年間の授業計画 ４月に授業を開始、学内授業と３年生の臨床実習を年内に全て実施。１月から最終学年は国家試験（２月末）に向けた学習を行い、他の学年は後期末試験を実施する。
成績評価の基準・方法
（概要） ・ 成績評価の方法 定期試験・実技試験・レポートなどを総合的に勘案して成績評価を実施している。講義は定期試験を中心に、実習は実技試験を中心に成績評価を行う。成績評価の方法は、各科目のシラバスで明確に示している。 ・ 合否判定、単位認定 合否判定は、学則で60点以上と規定されている。各科目、これを遵守して厳格に成績評価を行っている。
卒業・進級の認定基準

（概要）

・　卒業・進級の認定に関する方針の具体的な内容

作業療法士の資格取得レベルの学力到達が卒業認定の目安となる。具体的にはディプロマポリシーで示している。進級は、卒業から逆算して各学年の到達レベルを設定している。

・　卒業・進級の認定に関する方針の適切な実施状況

在学中に開講している全ての科目は、作業療法士の資格取得のために修得すべき内容で構成されている。従って、全科目の合格を卒業の要件とし、卒業判定会議で厳正な審査により卒業を認定している。進級は、各学年で開講している全ての科目の合格を要件とし、進級判定会議で厳正な審査より認定している。

学修支援等

（概要）

・　個別の学修支援

小テスト等により形成的評価を行い、修得が遅れている学生を早期に把握する。それを基に、個別的な指導、補習などを行なう。

・　資格取得向けた学修支援

国家試験に向け、少人数グループを構成し、各グループに担当教員を配置して学修指導を行う。模擬試験なども行い、国家試験の全員合格を目標に指導していく。

学習支援システム（アプリ）の活用により隙間時間の学習を促す。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）

卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
28 人 （100%）	0 人 （0%）	28 人 （100%）	0 人 （0%）

（主な就職、業界等）

総合病院、クリニック、訪問看護ステーション、放課後等デイサービス等

（就職指導内容）

就職説明会の開催、書類記載・面接等の指導

（主な学修成果（資格・検定等））

作業療法士国家試験受験資格

（備考）（任意記載事項）

中途退学の現状

年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
120 人	2 人	1%

（中途退学の主な理由）

学業不振、経済的理由、学校生活学業不適応

（中退防止・中退者支援のための取組）

個別の学習指導、面談（個人・保護者）、カウンセリング、補習、
学費相談（提携教育ローン、分納相談　等）

<table>
<tr><td colspan="2">分野</td><td>課程名</td><td colspan="2">学科名</td><td>専門士</td><td>高度専門士</td></tr>
<tr><td colspan="2">医療</td><td>専門課程</td><td colspan="2">理学療法学科</td><td></td><td>○</td></tr>
<tr><td rowspan="2">修業年限</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数</td><td colspan="5">開設している授業の種類</td></tr>
<tr><td>講義</td><td>演習</td><td>実習</td><td>実験</td><td>実技</td></tr>
<tr><td rowspan="2">4年</td><td rowspan="2">昼</td><td rowspan="2">3,585 単位時間/
124 単位</td><td>1,785
単位時間</td><td>720
単位時間</td><td>1,080
単位時間</td><td>0
単位時間</td><td>0
単位時間</td></tr>
<tr><td colspan="5">単位時間／単位</td></tr>
<tr><td colspan="2">生徒総定員数</td><td>生徒実員</td><td>うち留学生数</td><td>専任教員数</td><td>兼任教員数</td><td>総教員数</td></tr>
<tr><td colspan="2">160 人</td><td>153 人</td><td>0 人</td><td>9 人</td><td>56 人</td><td>65 人</td></tr>
</table>

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

（概要）

・ 授業方法及び内容

講義、実習で構成している。実習は学内の実習と学外での臨床実習を行う。

・ 年間の授業計画

4 月に授業を開始、学内授業と 3 年生の臨床実習を年内に全て実施。1 月から最終学年は国家試験（2 月末）に向けた学習を行い、他の学年は後期末試験を実施する。

成績評価の基準・方法

（概要）

・ 成績評価の方法

定期試験・実技試験・レポートなどを総合的に勘案して成績評価を実施している。講義は定期試験を中心に、実習は実技試験を中心に成績評価を行う。成績評価の方法は、各科目のシラバスで明確に示している。

・ 合否判定、単位認定

合否判定は、学則で 60 点以上と規定されている。各科目、これを遵守して厳格に成績評価を行っている。

卒業・進級の認定基準

（概要）

・ 卒業・進級の認定に関する方針の具体的な内容

作業療法士の資格取得レベルの学力到達が卒業認定の目安となる。具体的にはディプロマポリシーで示している。進級は、卒業から逆算して各学年の到達レベルを設定している。

・ 卒業・進級の認定に関する方針の適切な実施状況

在学中に開講している全ての科目は、作業療法士の資格取得のために修得すべき内容で構成されている。従って、全科目の合格を卒業の要件とし、卒業判定会議で厳正な審査により卒業を認定している。進級は、各学年で開講している全ての科目の合格を要件とし、進級判定会議で厳正な審査より認定している。

学修支援等

（概要）

・ 個別の学修支援

小テスト等により形成的評価を行い、修得が遅れている学生を早期に把握する。それを基に、個別的な指導、補習などを行なう。

・ 資格取得向けた学修支援

国家試験に向け、少人数グループを構成し、各グループに担当教員を配置して学修指導を行う。模擬試験なども行い、国家試験の全員合格を目標に指導していく。

卒業者数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業者数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
38 人 （100%）	0 人 （0%）	37 人 （98%）	1 人 （2%）
（主な就職、業界等） 総合病院、クリニック、訪問看護ステーション等			
（就職指導内容） 就職説明会の開催、書類記載・面接等の指導			
（主な学修成果（資格・検定等）） 理学療法士国家試験受験資格			
（備考）（任意記載事項） その他の者は就職活動中			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
158 人	10 人	6%
（中途退学の主な理由） 学業不振、経済的理由、学校生活学業不適応、病気		
（中退防止・中退者支援のための取組） 個別の学習指導、面談（個人・保護者）、カウンセリング、補習、 学費相談（提携教育ローン、分納相談　等）		

②学校単位の情報

ａ）「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 （年間）	その他	備考（任意記載事項）
作業療法学科 理学療法学科	250,000 円	800,000 円	460,000 円	R7 入学者まで
作業療法学科 理学療法学科	250,000 円	900,000 円	560,000 円	R8 入学者より
修学支援（任意記載事項）				
スカラシップ（入学者選抜時） スカラシップＳ：40 万 スカラシップＡ：20 万 スカラシップＢ：10 万 スカラシップ制度（在校生） グレードＳ：50 万 グレードＡ：25 万 グレードＢ：10 万				

ｂ）学校評価

自己評価結果の公表方法
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.morishima.ac.jp/fuji/introduction/estimation/

学校関係者評価の基本方針（実施方法・体制）

・専修学校における学校評価ガイドライン及び本校学則第 4 条に基づき、教育、組織及び運営並びに施設および設備等の状況を明確化する。
・本校自己点検評価の結果を基本として、学校関係者評価委員会の中で学校評価を実施する。
・本校の現状について、外部へ適切に公表する。

【主な評価項目】
1、理念・目的・育成人材像は定められているか 等
2、理念等に沿った運営方針を定めているか 等
3、教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか 等
4、就職率の向上が図られているか 等
5、退学率の低減が図られているか 等
6、教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか 等
7、入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか 等
8、学校および法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか 等
9、法令や専修学校設置基準を遵守し、適正な学校運営を行っているか 等
10、学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか 等

【評価委員会の構成】
専門分野委員（理学療法士）:企業代表　１名
専門分野委員（作業療法士）:企業代表　１名
その他：卒業生代表　１名
その他：保護者代表　１名

【評価結果の活用方法】
評価結果を公開し、学校としての対応を学校関係者委員会に報告し、場合によっては設置法人に対し対応・改善を求めている。
4 月に第 1 回学校関係者評価委員会を開催し、その時に出された評価結果を踏まえ 10 月までに対応または改善を図り、11 月開催の第 2 回学校関係者評価委員会において改善方策について報告をする。

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
富士整形外科病院	2025 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日	企業代表
湖山リハビリテーション病院	2025 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日	企業代表
専門学校 富士リハビリテーション大学校　同窓会	2025 年 4 月 1 日～ 2026 年 3 月 31 日	卒業生代表

専門学校 富士リハビリテーション大学校　後援会	2025年4月1日～ 2026年3月31日	保護者代表
学校関係者評価結果の公表方法		
（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.morishima.ac.jp/fuji/introduction/estimation/		
第三者による学校評価（任意記載事項）		

c）当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法） https://www.morishima.ac.jp/fuji/introduction/estimation/